

フレッシュアップ コミュニケーション

東京学芸大学附属竹早中学校同窓会

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校内
同窓会会長 古谷顯史郎

'14.6

ご挨拶 会員の皆様へ



同窓会会長 古谷 顯史郎

同窓会会員の皆様には、ご健勝にて、ご活躍の事と存じます。

ご協力頂き、七月十二日(土)に総会を開催致します。新会員をはじめ、多くの皆様に出席頂きますようお願い申し上げます。

母校竹早中学校は、昭和二十二年四月に創立されて以来、六十七年の歴史と伝統を持ち、卒業者数も一万千四百名余りとなりました。今年の活動は、三年後の創立七十年を見据え、記念名簿の発行、生徒に役立つ記念品贈呈、クラブ活動補助費の増額、記念誌発行等、学校・創竹会と連携し、準備を進めて参ります。

昨年は、入学式・運動会・文研・卒業式に出席致しました。生徒諸君が大らかで自由な校風の下、はつらつと育っている姿を見て、「自ら求め、考え、表現し、実践できる生徒を育てる。」「他人の立場や意思を尊重できる、視野の広い生徒を育てる。」「心身ともに明るくたくましい生徒を育てる。」という母校の教育目標が現実のものとなっている事を実感しております。

特に、秋の文研における自由研究課題の金賞作品は、素晴らしい出来栄えの作品も数多くありました。多少の手直しで、大学の卒論としても通用する様な作品が、いくつも見受けられました。渡辺校長に申し上げた所、校長も同感のご様子でした。会員の皆様も、時間がございましたら、秋の文研に足を運ばれ、現在の生徒の知的レベルの一端を見てあげてほしいと存じます。

また、昨年の秋に話が持ち上がりました追分小・中学校の記念銘板は、追分4期卒、附属小金井小学校同窓会(撫子の会)顧問

26年度 同窓会総会のお知らせ

総会担当幹事 第36期(昭和60年卒)

- 日 時/平成26年 7月12日(土)
 - 【受付開始】 13時30分より
 - 【第1部 総会】 14時00分 から14時30分 まで
 - 【第2部 懇親会】 14時45分 から16時00分 まで
 - 会 場/竹早中・小1階 ランチルーム
 - 会 費/一 般 2,000円
大学生 1,000円
ご招待 現・旧教職員の方々、高校生
 - 催し物/総会担当幹事学年による講演
- 新会員 第65期(平成26年卒)・総会担当幹事第36期・来年度担当次学年37期のみなさま、お誘い合わせの上、是非ご出席ください。

ご出席・欠席を同封のはがきにて、
6月29日(日)までにご返信ください。

であり、創立50周年記念碑デザインもされた金子修也先輩、荒井副校長他のご尽力に依り、本郷通りに面した文京区立六中・区地域センターの壁面に設置する事が決まりました。このフレッシュアップ発行時には設置されている予定で、追分に縁のある方には、大きな喜びと共に、思い出に残るものになると存じます。

先日、偶然元追分小学校、竹早小学校で教鞭を取られた宮越先生にお会いして、記念銘板の話を出した所、当時も有志の寄付を集めて、記念碑を建之する話が出て活動を始めたが、うまく行かず今日迄来てしまった。今回、記念銘板建之が実現出来た事は、非常に嬉しく、一安心ですと、おっしゃって下さいました。小生も追分小学校卒業生の一人として、追分小・中学校発祥の地に、記念銘板が設置される事は大変嬉しく、懐かしい思い出も蘇って参りました。竹早中学校には、末永く、竹早台に有り続けて行ってもらいたいと思います。

終わりに、会員の皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げますと共に、今後とも、さらなるご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

松浦寿輝という水先案内人を得て

学校長 渡辺 雅之



た。うつつジョイスかあ。「ユリシーズ」が待っているところに吉田健一が「フィネガンズ・ウエイク」に冷淡？大江健三郎への武満徹の書簡に「フィネガンズ・ウエイク」に触発されたとある。えっ何故？柳瀬尚紀訳冒頭「川走、イブとアダム礼盃亭を過ぎ、く寝る岸辺から輪ん曲する湾へ、…」何じゃこれ！ロラン・バルト「表徴の帝国」（宗左近訳）に学ぶ。坪内祐三はバルトを「フランスの批評家（いや作家と言った方が正確かもしれない）」と記した。だが松浦はバルトは生前「『批評家』『記号学者』でこそあれ、『作家』などと見なされたためしかなかった」と記す。「表徴の帝国」の印象に近い。さらに松浦は「失われた時を求めて」のような偉大な長編小説を書くことに憧れつつ、たぶん才能の欠如がその一つでないことだけは明らかなくつかの理由によって、作家になり損ねたバルト。その未決断のうちに窺われる「弱さ」の魅力を愛してきたわたしのような者にとつては「結局バルトは「単に『記号』を愛した人、それもその意味をではなく、その手触りや色や匂いや味を身体的に愛した人だったのだと思う。」いやはや水先案内人ならでは。

松浦寿輝に初めて巡り会ったのは小論「かつて授業は『体験』であった」。「畏怖も尊敬も、現在の大学からは消えてしまった」ことに同意。昨今「教室は、小ざれいにパッケージされた口当たりのよい知識を要領よく伝達する、能率的な教習会場如きもの」だ。ブルースト「失われた時を求めて」第一巻から直ぐに挫折する始末。しかしひょんなことで鈴木道彦訳文庫版巻末で松浦のエッセイ「ブルーストから吉田健一へ」に出会す。吉田健一とは誰ぞ。吉田茂元首相長男の意ではなく文人吉田健一のこと。エッセイのラストに「吉田健一は」ブルーストの「『近代の完璧を求める方法』の内に胚胎されたシニシズムとニヒリズムの凄みに対しては十分に意識的ではなかったようにも思う。彼がジョイスの『フィネガンズ・ウエイク』に冷淡であったことなども併せて思い起こされる。」とあつ

リピーターの多い学校

副校長 荒井 正剛



御さん、今年はずいに教え子のお嬢さんと、部活の顧問を勤めた卒業生の息子さんが、それぞれ中学校に入学し、授業も週一時間ですが、担当しています。このように本校には、「リピーター」が多いことがわかります。二年前の入学者保護者会で、本校を選んだ理由についてアンケートをとったところ、本校を第一希望とされた方々を中心に、「生徒・卒業生等本校関係者の勧め」を挙げた方が、何と二割を超えていました。このように、卒業生の皆様が本校の良さをお話し頂き、本校に入学されているケースも少なくないと思います。

昨年度三月、本校の酒井やよい教諭が、PTA第三学年理事さんたちとの会話で、たいへん盛り上がったそうです。というのは、PTA第三学年理事さんのうち、何と半分以上が本校はじめ本学附属学校の卒業生だったことがわかったからです。

酒井は本校へ異動する前に附属高等学校で長く勤務しており、多くの卒業生を出しています。家庭科担当で、附属高校の生徒は酒井と多く関わっています。

本校や本学附属学校卒業生がPTA理事をお引き受け頂く方が多いのは、本校の特長をよく理解されて、支援したいというお気持ちの表れであると存じ、たいへん有難く思います。

私自身についても、卒業生の兄弟姉妹は言うまでもありませんが、数年前から竹早小学校や幼稚園に、自分が学年を担当した卒業生のお子様たちが入るようになりました。そして、昨年は教え子の姪

本校でも数年前から、今では年一回、学校説明会を開いています。今や学校をアピールする時代です。その際、リピーターが多いことは大きなセールスポイントです。私は説明の最後に、必ずそれを強調しています。有難いことです。

その成果もあつてか、国立大学附属学校でも受験者数が減少傾向にあるなか、本校では昨年度、男子は微減にとどまり、女子は大幅増と大健闘でした。

これも皆様の本校に寄せる思いによるところと受け止めております。どうぞ引き続きご支援・ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

新任・退任の先生挨拶

新任挨拶

菊地孝太郎



はじめまして。平成26年度竹早中学校に着任いたしました。保健体育科の菊地孝太郎と申します。授業力の優れた先生方や志の高い生徒の姿勢に新鮮な刺激を受けつつ、毎日過ごしております。

これからも恵まれた環境や生徒・保護者・同僚の先生方に対する感謝や尊敬の気持ちを忘れることなく、一步一步邁進していきます。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

退任挨拶

鈴木淳子



母校の大学の附属学校で勤務でき、本当に嬉しく誇りに思っていたことが、

昨日のことのように思い出されます。着任して、私の中での目標は『東京学芸大学のため』そして『生徒のため』に、今までの経験を生かし、職務に精一杯取

り組んでいくこと』でした。目標を達成したとは言い難いですが、目標を達成するために努力を惜しまず勤務することはできたかと思えます。竹早中学校の関係の皆様には、大変お世話になりました。心より感謝いたします。ありがとうございます。

平成25年度同窓会総会報告

35期幹事 吉田（佐藤）友香

平成25年7月21日、小学校ランチルームにて、25年度総会および懇親会が開催されました。厳しい暑さの中でしたが、幅広い学年から約百名の同窓会会員の皆様にご出席いただきました。

総会では滞りなく議事が進行され、同窓会から学校へクラブ活動援助金が贈呈されました。続く懇親会は「癒し」をコンセプトに企画され、「ロボット・スキ」と癒し」をテーマにした講演のほか、花と緑のディスプレイやリラクゼーションコーナーを楽しんでいただきました。

新会員である64期の皆さんは、SNSのつながりの力を発揮して多数参加してくれました。卒業生のためにお顔を見せてくださった先生方を囲み、高校生活の様子を語るさらさらとした笑顔が印象的でした。そして担当年次の35期にとっても、お世話になった鈴木忠明先生にお越

しいいただき、お変わりないエネルギーギッシユな語り来接することができたことは大きな喜びでした。三十年ぶりに配られた社会科のプリントに、中学生に戻ってしまうひとときでした。

懐かしい再会にそれぞれの話がはずみ、にぎやかな雰囲気の中、参加者全員で校歌を歌って閉会となりました。

準備段階から当日までお力添えをいただきました荒井正剛副校長先生をはじめ、常務理事の皆様、34期の先輩方にも竹早で過ごした時間で結ばれた同期の絆を大切に、これからも竹早中学校と同窓会のご発展を見守っていききたいと思えます。

母校PTA文化厚生部からのお願い

例年行われている制服等のリサイクルを、今年度は左記の要領で行います。ぜひご協力ください。

○現行の制服（男女とも）、ワイシャツ、ブラウス、ネクタイ、リボン、ベストなど。

○運動会（9月27日）、文研（10月31日・11月1日）当日に受け付けます。運動会ではグラウンドへの階段下に回収箱を設置します。

○竹早中学校事務室あての郵送・宅配でも常時受け付けいたします。

学校よりクラブ活動援助金について

毎年、部活動援助金を賜り、また、昨年度は十万円も増やして頂き、誠に有難うございます。昨年度は、吹奏楽部のホルン、バレーボール部のバレー支柱と審判台、ネット等を購入させて頂きました。部活動の経費については、中体連登録費や大会参加費を含めて、教育後援会「創竹会」から八十万円を頂いています。一部当たり平均配分額は二万四千円です。部によっては不足分を、部費を集めて賄っています。同窓会のご支援はたいへん貴重で有難いです。



総会担当幹事 36期生の部屋

36期生のみなさんへ

西原口伸一（36期学年担任）



私が竹早中に赴任して、1年の入学式から3年の卒業式まで連続して学級担任を持ったのは

君たちが初めてでした。それだけに愛着と思い入れがありました。アルバムを開くと、あの頃の君たちと過ごした頃の雰囲気になつかしく感じられます。当時学年主任だった坪倉先生と居酒屋で呑みながら、君たちのことをいろいろと語り合ったものです。あの頃の若かった私は、今は亡き坪倉先生からたくさんのことを学びました。君たちは、仲の良い元気な、元気な中学生でしたね。

そんな君たちは45歳になるんですね。私は君たちと同じ年齢の頃、狭心症を患い3ヶ月間休職しました。当時の生徒・保護者・教職員の方々に多大な迷惑をかけてしまいました。体調の異変に気づいたことはあったのですが、自分の健康を過信していました。未来ある君たちにとって一番大切なことは、健康管理です。健康第一、忘れないでください。

琵琶湖畔で新たな生活

柴田俊和（36期学年担任）



竹早中学校を途中で退職して、はや6年経ちました。現在、故郷である滋賀県大津市の北の

端にあるびわこ成蹊スポーツ大学という小さな単科大学で、スポーツの研究と保健体育の教員を養成する仕事をしています。中学校の教育現場とは違って、大学では教員がやらなければならない仕事が多岐にわたります（やらなくても誰も困らないことも多くあるのですが）、貧乏性の私にとっては、竹早中学校にいた時以上に忙しい生活になってしまいました。手間はかかったけれど、生徒たちと一緒いろいろな活動で汗を流したり、毎月1度は海釣りに通っていた竹早での教員生活を懐かしく思い出しながらこの文を書いています。31年前に担任をさせていただいた36期生の中には実に個性的で多才な生徒がたくさんいて、担任の2年間に多くの経験をさせてもらったと苦笑しています。7月には30年ぶりにおじさん（壮年）・おばさん（熟女）になった皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

竹早中を卒業して、もうかれこれ三十年。気がつくくと娘、息子も高校生。私は現在、アメリカのニューハンプシャー州に居を構えています。大学卒業後一年で結婚し、夫の留学に付き合っただけで約二十一年前。その後、シンガポール、オーストラリアと移動し、二年ほど前に、子供達の生まれ故郷ボストンから車で二時間ほどの所に戻りました。何せ海外が長くなり、竹早中のお友達とは本当に疎遠になっていますが、三年ほど前、嬉しい再会がありました。オーストラリアのキャンベラで一時代大使館に勤務していた縁で、そこに配属された中、高時代の友人に再会しました。二十三年ぶりの再会でしたが、彼女の前髪を指でかく仕草が当時のままで、涙が出るほど感激したのを覚えています。

三十年を振り返って

堀内（平原）知寿子

竹早中を卒業して、もうかれこれ三十年。気がつくくと娘、息子も高校生。私は現在、アメリカのニューハンプシャー州に居を構えています。大学卒業後一年で結婚し、夫の留学に付き合っただけで約二十一年前。その後、シンガポール、オーストラリアと移動し、二年ほど前に、子供達の生まれ故郷ボストンから車で二時間ほどの所に戻りました。何せ海外が長くなり、竹早中のお友達とは本当に疎遠になっていますが、三年ほど前、嬉しい再会がありました。オーストラリアのキャンベラで一時代大使館に勤務していた縁で、そこに配属された中、高時代の友人に再会しました。二十三年ぶりの再会でしたが、彼女の前髪を指でかく仕草が当時のままで、涙が出るほど感激したのを覚えています。

私は竹早のジャンパースカートの制服が大のお気に入りでした。あの夏服の少々奇抜な緑色さえも特別な制服に思えて大好きでした。実家の八王子近辺では誰も着ていませんでしたし、竹早の生徒であることをとても誇りに思っていました。ただもう少しきちんと勉強すべきだったのです。付属高校への進学は叶わず、思ったよりも早く友達との別れを経験する羽目になりました。休み時間に一緒にバスケットをして楽しみ、屈託なく笑い転げた日はあつという間に過去のものとなり、自らが母校の竹早から遠ざかる寂

北九州から、みなさんお元気ですか

鈴鹿（後藤）佳南子

駿のあとは、友達と長くおしゃべりするために池袋駅まで歩いたり。高校、大学時代は自分を模索しているうちに過ぎてしまった感がありますが、中学校時代は、自分あまり深いことを考えずにはしゃげた最後の3年だったと思います。今は、子供達が自分のやりたいことを模索しながらいよいよ巣立つ頃で、私も再び、自分の時間を大切にするステージに入ってきたと感じています。疎遠になってしまっている竹中の友達との再会の機会も大切に行きたい、としみじみ思う今日この頃です。

私は竹早のジャンパースカートの制服が大のお気に入りでした。あの夏服の少々奇抜な緑色さえも特別な制服に思えて大好きでした。実家の八王子近辺では誰も着ていませんでしたし、竹早の生徒であることをとても誇りに思っていました。ただもう少しきちんと勉強すべきだったのです。付属高校への進学は叶わず、思ったよりも早く友達との別れを経験する羽目になりました。休み時間に一緒にバスケットをして楽しみ、屈託なく笑い転げた日はあつという間に過去のものとなり、自らが母校の竹早から遠ざかる寂

しさを味わいました。ですから、竹早での中学時代を振り返った時、ノスタルジックな気分だけではすまされず、もれなく反射的に「反省モード」になってしまいますが、樂觀的な私の人生の重要なターニングポイントだったのかもしれない。

今は福岡県の市立病院の内科に勤務医として働いています。

先日、同じ年齢でありながら既に教授になっている女性医師の講演を聞きに行きました。もう本当に恐れ入りました。研究への情熱、日常診療の責任感、新しい治療薬の開発の夢がこちらにも伝わり、とんでもない仕事量に脱帽です。羨望の気持ちを抱きながら私は軽く落ち込みました。「人と比べても仕方がない。私に出来ることは何か？」スケールの大きな仕事や研究はしていません。外来や入院の診療業務に毎日明け暮れています。ただ有難いことに、頼れる上司と何でも相談できる同僚がいて医師不足の職場のわりには連携が良く助かっていますし、「慈愛」と「和」の精神を持つ仲間から多くのことを学びます。仲間って大切だとしみじみ思います。

竹早時代の「仲間」の同窓生のみならず、お元気でいらっしゃるか？ 私たちも中年になってしまいましたよね。年をとりましたが、私自身はまだまだ学ぶ余地の多い人生を送っています。「気付き」を大切にしながらもう少し成熟したいですし、

人に必要とされる喜びを忘れずに充実した日々を送りたいと考えています。

庭師と恩師と

小倉進二

実は中学時代の記憶が乏しい。頭に白いものが増え、お腹も出っ張ってくるにつれ物忘れも激しくなっているのだろう。わずかばかりの思い出をたぐると、一番に目に浮かぶのは午後になると前庭に現れる「竹中の庭師」の姿だ。「あなたたち、ちゃんと掃除しなさい

よね！」水をまくホースで友達とふざけていると、決して長くはなく、決して細くはない足で蹴りを入れてくるのがグレート福岡（康子先生）だった。庭いじりが趣味のグレートが2、3年生の時の担任だったため、漏れなく庭掃除も我がクラスに回ってきた（のだと思う）。植木に適当に水をまいておけばいいから庭掃除は好きだった。よく怒鳴られたが、可愛がってもらっていると感じられる先生だった。卒業後、出していた年賀状がいつからか宛先不明で送り返されるようになった。以来、グレート

竹中には個性豊かな先生が多かった。「グッモーニング、クラス」が今でも耳に残るジャパーニーズイングリッ



シユの原先生。なぜか「グーテンモルゲン」とあいさつしてから数学の授業を始めるツボセン（坪倉登先生）。シバセン（柴田俊和先生）のサンクラスとソリの入った頭も懐かしい。

1年生の時、テニス部を希望したが、人数制限で入部できなかった。枠が余っていた体操部に入ったが、マットで相撲ばかり取っていた。そんな我々をシバセンは容赦なく試合に出場させ、10点満点で2・3点という脅威の成績を叩き出したのは私だけだった。早く辞めさせてく

れと頼み込み、拾ってくれたのがニッパラ（西原口伸一先生）のサッカー部だった。

いかに校庭が狭くても、部活は生徒の希望を叶えてあげるべきだ。ということが言いたかったのではなく、ただ感謝の念を伝えたい。少し大人に恩師に見守られたおかげもあり、皆が今をきつとなんとか生きていると思う。

追分校発祥の地に

歴史銘板を設置

追分4期 金子修也

現在は文京区が所有し区立六中が使用している元附属追分校の校舎が老朽化したため解体され、新たに区の地域セン

ターを併設する七階建ての複合施設が文京区によって建設されました。

この工事が進んでいた昨夏、附属小金井小学校同窓会〈撫子の会〉(旧豊島小・追分小・小金井小が合流した同窓会)の小金井卒世代の理事らから「この機会に追分校発祥の地の記念碑を造ろう」との声が上がり、早速、伝手を頼って文京区

に碑の設置を打診したところ、快く承諾して頂けました。

設置にあたって本施設には石碑などの建込み余地はなく、区と相談の結果、左図のように壁面に銘板を区の歴史紹介板と並べて設置することになりました。追分小は始めから附属として出発したのでなく、前身に明治に始まる尋常小学

校があり、背後に図の銘文に見られるように戦中・戦後期の日本の教育史の一端を示す経緯があります。このことを示さなければ銘板建立の意義に欠けると思い、竹早中同窓会にも諮り、また小金井小や学芸大図書館を訪ね関係する資料を

整えて区の教育委員会と打合せを重ね、その上で、両者のパネルの記述が互いに補う一対のものとなるようにし、デザインは端正を旨にして制作しました。設置工事はこの六月の予定です。完成したらぜひお訪ねください。(附属小金井小学校同窓会〈撫子の会〉顧問)

追分尋常小学校跡

追分尋常小学校は、当地(旧 駒込追分町45番地)に明治37年(1904)1月に開校した小学校である。開校当時の児童数は108名、二学級を編成し授業を開始した。同38年4月、高等科を設置したが、同41年4月、学令改制により高等科を分離した。

昭和8年(1933)9月には、追分尋常小学校と当時隣接していた本郷高等小学校(明治43年に湯島から移転)の二校が併設された、最新の建築様式による鉄筋コンクリート3階建ての校舎が落成した。

これは、東京市が関東大震災後の不燃化計画推進の一環として建設したものである。

昭和16年4月、国民学校令により追分尋常小学校は追分国民学校となった。同19年、戦時下の男性教員の不足を補うために東京第二師範女子部が創設され、当地の校舎が女子部の校舎として提供された。

昭和20年4月、追分国民学校は国に移管され、東京第二師範女子部附属国民学校となり、尋常科と高等科が併設された。同22年4月、尋常科は、東京第二師範附属小学校となり、同26年4月に、東京学芸大学附属追分小学校と改名された。

昭和22年に新設された第六中学校は、誠之小学校や指ヶ谷小学校等に分散し授業を実施していた。同27年からは、当地の校舎の一部を使用していたが、同29年に統合。同36年、東京学芸大学附属追分小学校は閉校となり、第六中学校が当地の校舎の全面使用を開始した。

文京区教育委員会 平成26年5月

東京学芸大学 附属追分小学校・中学校 発祥の地



太平洋戦争中(1941~45年)、日本は多くの男性教師を戦場で失い、教員の養成が国家的急務になった。そのため終戦も間近な1945年4月、追分国民学校は国に移管され、女子師範学校の拡充に併せて教育実習のための附属校として開設された。その必要は戦後も続き、1947年の六三制施行にともない高等科を廃し附属追分中学校が開設され、また、1951年に師範学校が東京学芸大学となるのに伴い同学附属となり、ほかさまざまな経緯があったのち、1954年に附属追分中学校が附属竹早中学校に、1961年に附属追分小学校が同豊島校と共に附属小金井小学校に、それぞれ合併移校を完了し、校舎は文京区に戻り、この地で本校と文京区と地域がともにした戦中戦後の一時代が終りを告げた。これを記しこの碑板を設置する。

2014(平成26)年5月建之
東京学芸大学 附属小金井小学校同窓会〈撫子の会〉・附属竹早中学校同窓会



↑H485mm × W685mmの
銘板を縦並べに配置
(提供:文京区教育委員会)

←本郷通りから見た新施設外観
銘板はこの右端の壁面に設置

*東京メトロ南北線「東大前」下車
本郷通りに出てすぐ

平成26年度 予算案

(自平成26年4月1日
至平成27年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	11,987,703	Ⅲ 本年度支出	3,460,000
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,300,000
普通預金	1,576,425	総会・懇親会開催費	600,000
郵便貯金	7,290,388	常務理事会費	50,000
小口現金	120,890	総務費	60,000
		文書事務費	20,000
		郵便連絡費	100,000
		慶弔費	90,000
Ⅱ 本年度収入	2,992,000	卒業記念品代	140,000
【内 訳】		クラブ活動援助金	600,000
新入会員会費	1,580,000	技能強化支援金	100,000
同窓会活動支援寄付金	500,000	名簿入力・追録費	100,000
		ホームページ作成・維持費	200,000
維持会費	800,000	追分中学・小学校 銘板除幕式寄付	100,000
総会・懇親会会費	100,000	差引残高	11,519,703
預金利息	2,000	Ⅳ 次年度繰越	11,519,703
名簿売上	10,000	【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	2,000,000
		郵便貯金	5,700,000
		小口現金	819,703
合計	14,979,703	合計	14,979,703

注：(1)送料を含む

平成25年度 会計報告

(自平成25年4月1日
至平成26年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	11,251,097	Ⅲ 本年度支出	2,794,511
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,167,295
普通預金	1,549,364	総会・懇親会開催費	518,984
郵便貯金	6,542,853	常務理事会費	36,891
小口現金	158,880	総務費	42,192
		文書事務費	1,542
		郵便連絡費	78,815
		慶弔費	30,000
Ⅱ 本年度収入	3,531,117	卒業記念品代	108,000
【内 訳】		クラブ活動援助金	500,000
新入会員会費	1,580,000	名簿入力・追録費	60,522
同窓会活動支援寄付金	669,000	ホームページ作成・維持費	168,370
		同窓会横断幕製作費	81,900
維持会費	1,104,000	差引残高	11,987,703
総会・懇親会会費	156,000	Ⅳ 次年度繰越	11,987,703
預金利息	2,117	【内 訳】	
名簿売上	20,000	定期預金	3,000,000
		普通預金	1,576,425
		郵便貯金	7,290,388
		小口現金	120,890
合計	14,782,214	合計	14,782,214

注：(1)送料を含む

創竹会からのご挨拶
基本(押し)を身につけて



創竹会会長
三嶋 明

同窓会会員の皆様には平素より竹早中学校教育後援会「創竹会」の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私は、昨年6月に会長職を子安龍太郎前会長から引き継ぎました。平成13年1月の創竹会発足以来、組織の確立、発展に多大な貢献をなされた二瓶好正初代会長、子安龍太郎前会長には人格・能力・経験とも及びませんが皆様の絶大なるご支援をお願い申し上げます。

私は、昨秋の「創竹会だより」でも自己紹介させて頂きましたが、体育会相撲部OBで、人生に必要な知恵は殆どそこで身につけました。とりわけその中で最も重要なのが表題の「基本」です。相撲は、「基本の『前に出る力』」がなければ勝てません。しかし、それだけで勝てる訳ではなく、工夫、閃き、努力が必要ですが、それらを支えるのも「基本の『前に出る力』」です。私は皆様の母校竹早中学校の生徒たちが、この人生に必要な「基本」を見つかる事のお手伝いを、いささかでもできればと会長職をお引き受けした次第です。

教育後援会「創竹会」は、竹早中学校の在校生の保護者の皆様に正会員とし、同窓会の皆様や正会員OBならびに退職された竹早中学校の先生方等からなる賛助会員から

構成されています。また、創竹会では竹早中学校における教育研究を支援する目的で、会員の皆様の会費ならびにご寄付を平成25年度決算(案)ベースで2千8百万円頂き、奨学寄附金ならびに教育研究活動補助金として母校へ提供し、母校の運営に貢献しております。平成25年度は、特に準備室のエアコン設置、ホームページ更新、温水洗浄便座の設置等、限られた財源の中から優先順位を定め、実施致しました。

国からの予算は先細りの状態で、現状では母校の経費のうち約9割を創竹会が支援しており、一方では少子化進行の中で学校の学習環境の充実化の競争が激しくなり、母校もその渦中にあります。創竹会の役割は、ますます重要なものとなりますので、同窓会の皆様にはこれまで以上のご理解と財政面でのご支援を心よりお願い申し上げます。

最後に「宣伝」ですが、11月に行われる母校の文化研究発表会(文化祭)にて、創竹会ブース・茶房「創竹庵」を毎年開店しておりますので、同窓会の皆様のお越しもお待ちしております。渡辺校長直伝の「ベトナム珈琲」が好評です。収入は、生徒の教育活動のために役立てています。

平成26年度
常務理事の募集

同窓会理事会は、常務理事の募集をしております。幅広い年代の方々が各担当部署で活動しています。昨年度の理事会構成は最終頁に掲載しておりますので、参考にしてください。総会の運営・年4回ほどの理事会・先生方との懇談会・名簿の管理・発行・同窓会誌発行などが主な行事です。理事になつて同窓会をより良くしていきます(松岡)

名簿部より

同窓会名簿について

2011年版同窓会名簿作成に当たり、各年次委員の調査ご協力ありがとうございました。その後、同窓会理事会では「同窓会七〇周年記念 2017年版」名簿の作成について、議論を重ねているところであります。今後も有意義な同窓生の交流を応援するツールとして、各位のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

転居手続きについて

3年前よりお届けする業者をJ-Pビズメール便に変更し、郵便局で移転手続きをされた方には、移転先へ届くように致しました。この効果により、不明返却される方の数は大きく減少しつつあります。同窓会へ転居手続きがされていない方は、この機会に是非、左記の同窓会データ更新手続きをお願い致します。

名簿デジタルデータ更新について

①「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」及び「竹早中学校同窓会個人情報保護基本方針」を遵守し、管理致します。

②同窓会誌「フレッシュアップ」発行時の同窓会総会返信葉書にて、毎年調査を行い、変更事項について更新致します。

③随時、郵送又はメールにてデータ提供をいただいた場合、更新致します。
・自分の住所等の変更があった時
・2011年版名簿に記載誤りがある時
・友人の空欄（消息不明）をお知らせいただける時

※ご本人が公表拒否を希望されている場合は同窓会への管理となります。

【連絡先】

〒112-0002

東京都小石川4-2-1

東京学芸大学附属竹早中学校

同窓会名簿部 白石 英行 宛

E-MAIL bunkyo@mail.nj.p

※同窓会名簿の最後に葉書を折り込みましたのでご利用下さい。

④デジタルデータ更新は年2回（3月・9月）行います。

最新情報の提供について

同期会開催の必要に応じて各年次委員に限定し提供致しますので、右記の名簿部白石 英行までお問い合わせ下さい。

平成25年度同窓会活動報告

4月10日 入学式出席

（古谷会長・田中顧問出席）

4月20日 第1回常務理事会

懇親会について

（日程…7月21日（日））

5月31日 先生方との懇親会 19:00～

6月8日 銀座モントレーホテル

第2回常務理事会

総会について

7月21日 同窓会総会

（小学校ランチャーム）

9月14日 第3回常務理事会

名簿の発行

横断幕について

追分小学校の銘板について

11月10日 総会報告

3年生保護者会

同窓会入会の説明…会長

11月16日 第4回常務理事会

クラブ活動援助金値上げについて

1月14日 新年会 1月25日 19:00～

銀座松屋

3月13日 卒業式予行（記念品贈呈式）

マグカップ・名簿の贈呈

（小菅・白江出席）

3月14日 卒業式

（古谷会長・田中顧問出席）

平成25年度同窓会常務理事

顧問 田中 元次（2期竹）

監事 二瓶 好正（7期）

会長 高柳 良夫（3期竹）

副会長 古谷顯史郎（13期）

三嶋 明（13期）

総務部 松岡 隆司（14期）

高島 正子（7期）

白江 千治（26期）

事務部 高柳 良夫（3期竹）

三嶋 明（13期）

田中 充（29期）

広報部 小菅 昭彦（27期）

田上 睦美（33期）

名簿部 野島 雅（41期）

花見喜久子（13期）

白石 英行（31期）

関根あすか（36期）

正野 敬子（19期）

永井真知子（19期）

石黒由香里（26期）

維持会費同窓会支援寄付金 ご協力をお願い

同窓会経費は、入会金、維持会費、同窓会支援寄付金その他の収入金をもってこれ

にあてる（同窓会会則22条）。25年度の収入は約353万円、支出は約279万円でした（平成25年度会計報告参照）。収入内訳は、入会金約158万円、維持会費約110万円、同窓会活動支援寄付金約67万円、その他約18万円でした。
維持会費は毎年2,000円で、卒業後7年以降経過した社会人を対象にしています。同封の払込取扱票をご利用ください。
なお、払込人住所氏名欄の住所・氏名・卒業年次の記入をお忘れなく（毎年払い込みください）。

編集後記（母校へ凱旋授業）

昨年7月17日に竹早中学校で二年生の自由研究を対象とした授業を行いました。最新のデジタル顕微鏡を持ちこみ、スクリーンに10円玉の平等院鳳凰堂などを大写しにしてみんなで観察しました。なかでも、中学校玄関の自動販売機で買った牛乳のコロイド粒子が動く様子を見たときのみんなの驚きと言ったらありませんでした。「ワァー！なんて動くんだろう！」



その感動さえあれば、いいと思うのです。「ありふれた解答をググる前に、この感動を絶対に忘れないでほしい。そしてみんなの中から科学者が一人でも育ってほしい。」私は待っています。（野島）

同窓会ホームページをご活用ください。

<http://www.takehaya-jhs-dousoukai.net/>